

ぶどう算の まちがいさがし 三

だんの 手がかりで まちがいを さがそう

なまえ _____

ひづけ _____

もんだい

ゆうくんの ぶどうは、1つの ますだけ まちがえて いる。いちばん 上の だんは 合っている。

きまり

この 図を ぶどうと いう。となりあう 2つの 数を たした 数が、2つの 間の 下の ますに 入る。

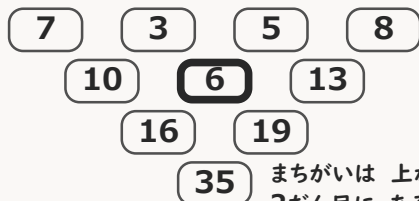
やりかた

- ① ぶどうの 右下に、まちがいの ある だんが「まちがいは 上から ○だん目に ある」と 書いて ある(○には 数字が 入る。いちばん 上の だんが 1だん目)。その だんだけ しらべる。
- ② その だんの ますを 左から 右へ 1つずつ、ななめ上の 2つを たした 数と くらべる。しらべる □は ないので、頭の 中で 合う・合わないを 決める。
- ③ 合わない ますの まわりを、えんぴつで ぐるっと かこむ。
- ④ 「正しい 数」の □に、まちがえた ますの 正しい 数(ななめ上の 2つの 和)を 書く。
- ⑤ 「正しい 数」の となりの「直した 下の 数」の □に、まちがえた ますを 正しい 数に 直したとき、いちばん 下の ますが いくつに なるかを 書く。まちがえた ますの 1だん下から いちばん 下の だんまで、頭の 中か 紙の すみで 1だんずつ たし直す。ぶどうの 数は 書きかえない。

こまったら

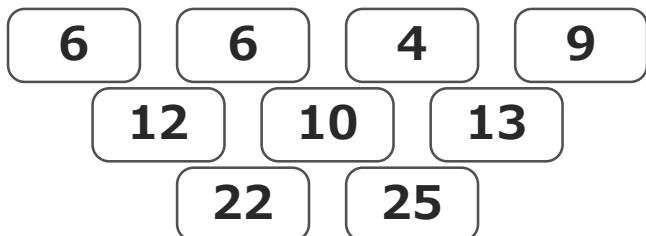
まちがえた ますより 下の だんの ますは、まちがえた 数を使って たして あるので、しらべると 合っ ている。いちばん 下の ますが まちがいの ときは、「正しい 数」と「直した 下の 数」の □は おなじ 数。

れい



2だん目: $7+3=10$ ○ $3+5=8$ なのに $6 \rightarrow \times$ $5+8=13$ ○
× の 6を ぐるっと かこむ。正しい 数は 8。

直した 下の 数: 3だん目は 18、21、いちばん 下は $18+21=39$



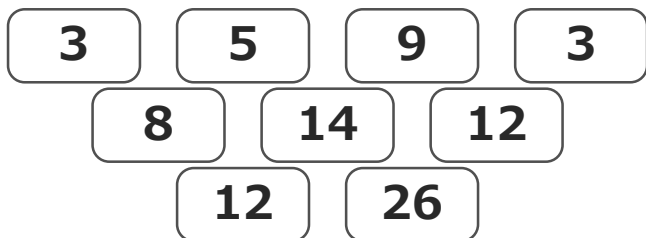
(1)

47

まちがいは 上から
3だん目に ある

正しい 数

直した 下の 数



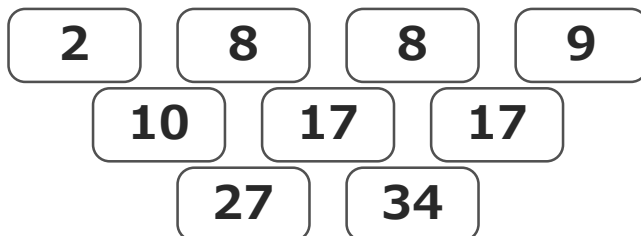
(3)

38

まちがいは 上から
3だん目に ある

正しい 数

直した 下の 数



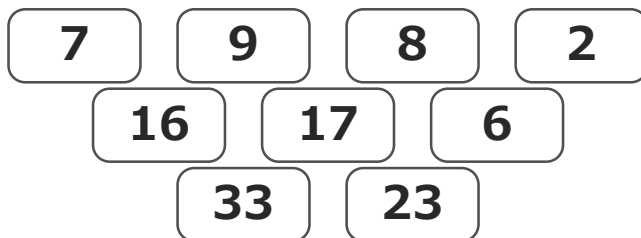
(2)

61

まちがいは 上から
2だん目に ある

正しい 数

直した 下の 数



(4)

56

まちがいは 上から
2だん目に ある

正しい 数

直した 下の 数



ぶどう算の まちがいさがし 三【こたえ】

だんの 手がかりで まちがいを さがそう

なまえ _____

ひづけ _____

こたえ(赤い 字や 丸が 書く ところ)

どこが まちがいかな・なぜかな・どう 直すか

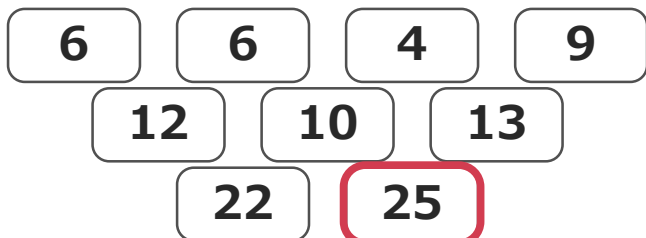
- (1) 3だん目の 左から 2ばん目の ますの 25が まちがい。上の 10と 13を たすと 23。だから 正しい 数は 23。
まちがえ方:10+13の 一の位を たしまちがえた(十の位は 合っている)。
直すと いちばん 下は $22+23=45$ 。
- (2) 2だん目の 左から 2ばん目の ますの 17が まちがい。上の 8と 8を たすと 16。だから 正しい 数は 16。
まちがえ方:となりあう 8と 8でなく、間に 1つ はさんだ 8と 9を たした。直すと 3だん目は 26、33、いちばん 下は $26+33=59$ 。
- (3) 3だん目の 左から 1ばん目の ますの 12が まちがい。上の 8と 14を たすと 22。だから 正しい 数は 22。
まちがえ方:8+14で くり上がりを 書きわすれた(22の ところが 10 ちがい)。
直すと いちばん 下は $22+26=48$ 。
- (4) 2だん目の 左から 3ばん目の ますの 6が まちがい。上の 8と 2を たすと 10。だから 正しい 数は 10。
まちがえ方:8と 2を たさずに、ひき算を した。直すと 3だん目は 33、27、いちばん 下は $33+27=60$ 。
ポイント:まちがいの 下の ますが 合っ て 見えるのは、まちがえた 数 を 使っ て たし て あるから。だから 上の だんから じゅん に しらべ て、はじ め て 合 わ ない ます が 出 発 点。

おうちの方へ

採点は ①かこんだ ます ②正しい 数 ③直した 下の 数 の3つです。かこみ方(ますの まわりを かこむ・ますの 中に ○を 書く)は どちらでも 正解です。

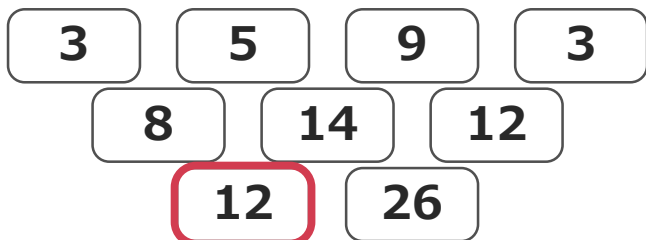
手がかりの「上から ○だん目」は、その だんの ますだけ しらべればよい という 合図です。

声かけの例:『どの ますから しらべた?』『下の ますは 合っ て いるのに、どうして ここが まちがいと 分かったの?』『直したら 下の 数は どう 変わった?』



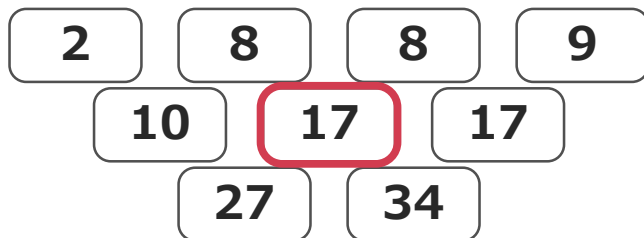
(1) 47 まちがいは 上から 3だん目に ある

正しい 数 23 直した 下の 数 45



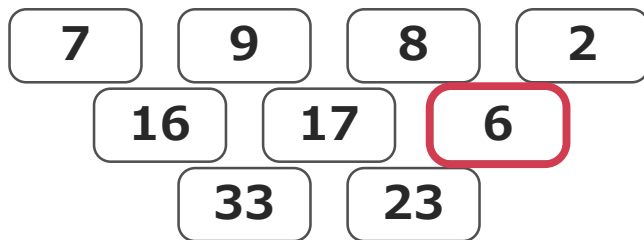
(3) 38 まちがいは 上から 3だん目に ある

正しい 数 22 直した 下の 数 48



(2) 61 まちがいは 上から 2だん目に ある

正しい 数 16 直した 下の 数 59



(4) 56 まちがいは 上から 2だん目に ある

正しい 数 10 直した 下の 数 60